



18禁

C80 ぐがき本  
松本トリル研究所

# けいおん！ みんなの卒業アルバムの巻

「さあー撮るわよー。そうそう。こっち向いてねー。いいわー。もっとお尻つきだして。そうそう！丸見えよ、丸見えー！」

さわこ先生がデジカムを覗いて実況する。

ときどき。どうしよう。全部撮られちゃってます。

私のおしっこするところ全部撮られて、高解像度で記録されちゃいますー！  
どうしましよう、緊張しちゃいます。

「さあさあ出して。あらあら、びらびらが震えてるわよ。

我慢しないでいいのよ。大丈夫！音も全部綺麗に録音するから！  
いい記念になるわよー」

さすがに凄く恥ずかしい。でも！

でも、高校生活最後だし、特別なことしてみたい！

おしっこするところを撮って欲しいー！

あ、あ、でちゃう……おしっこでちゃう……！

こんなの初めてです……！

## ぷしゅー！

だめえ！もうダメ！漏れちゃう……！

私、今とっても凄いいことしちゃってますー！

「あら〜出が悪くて垂れちゃってるわよ〜

ダメよ、女の子はもっと勢いよく

おしっこしないとー！

そうそうー！

勢いよく出さないと

太ももが濡れちゃうからー！」

私はなにか解放されながら、  
あることを心に決めました。

あ、おしっこ以外の液も

垂れてきた気がします。

恥ずかしいかも……

「うふふ。あとでみんなと  
一緒に私のおしっこしてる  
ところ見るの楽しみです」



「あずにゃんのお口のなか、おいしい。あまーい☆ んー、ペろペろ…」

先生が持つてきたお酒を飲んでみんなおかしくなっちゃった。

あれ？ 私はなんで唯先輩とキスしてるんだろ……

舌を強く吸い合つて歯の裏まで舐められて……

もう、なんでもどうでもよくなつてきちゃった。

「先輩。せんぱいつ！」

ちゅぶちゅぶ、ペろペろ、ぬるぬる……

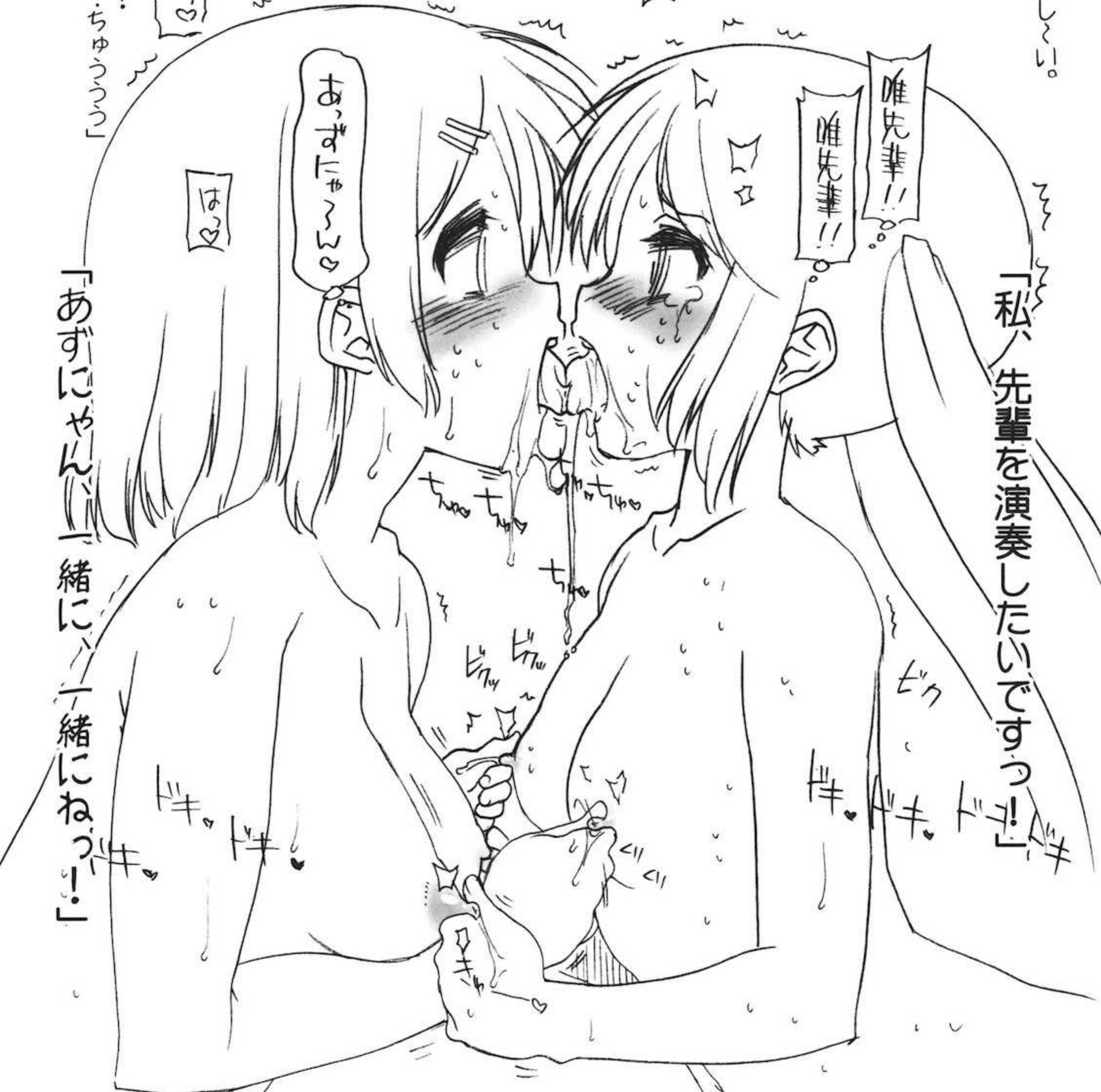
さみしいよお。せんぱいいい……。もう、溶けちゃおう。こうやつてお口を吸い合つて一つになっちゃおうよ。

あつ……せんぱいの指があたしの乳首を演奏してる。きゅんきゅんって弾かれてる。あたしも先輩を演奏したいっ！ えいっ！

「ああん！ そうだよ、そっつ！ 優しくしてね、あずにゃん……ちゅぶちゅぶ」

「私、先輩を演奏したいですっ！」

「あずにゃん、一緒に、一緒にねっ！」



んん……おしっこ……  
むにやむにや……

あれ？ なんだか……  
スーナーするにや……？  
あれっ！ 下着穿いてない！

なんでえっ？  
私、寝ちやっただの！？

ひえっ！？ お尻っ！  
お尻に変なの入ってる！

「お尻の穴に

なにか

はいつてるう」

すっお尻ー

す

す

「おしっこ撮っちゃダメえ！」

さっ、さわ子先生！ なんてことするんですかあ！  
あわあわ……ちよっコレ どーしたら……  
笑うな律う！ え？  
早くしないと奥に潜る？

そっ、そんなあ あひっ、動いてる！  
怖！ ひいひいっキモチ悪い！  
ちよっ！ なにカメラ回してるんだー！！

あっ、いやあっ！ 動いてるう！  
お尻の中でうごいてるうう！  
取って取って取ってえー！！

あひっ！ 震動が！も、漏れるう！  
おしっこ……いやあ出ちゃうってばあっ！  
撮らないでくださいってばあ！ いやああああ！







「いやー、いいの撮れたわ。ホント、コレはいい記念になるわよ」

「う、ううん……あれ、私なにやって……って、なんでハダカああ!?!」

「あらら、ちよつと薬キメすぎちゃったかな。みんな風邪引かないでね」

「ええええ? ちよ、どこ行くんですか先生」

「ちよつと動画の海外業者あたりに……」

「ちよ、いいかげんにしろー!」

「う、ううくん……みんな、だいすき」

「唯! お前ものんきにしてるんじゃない!」

「よつしや、こうなったら」

「さわちゃんも巻き込まれまえ!」

「はい! 私、カメラ回しますね!」

「え? あたしはいいから……」

「ひ、ひえええー! いやーん」

「うふふ、楽しいですね」

「ムギ、おまえずっと正気だったんじゃないか……?」

「え?」

「おいー!」

「みんなだいすき♡」

「おいー!」

台湾にはデブが居ない。デブとは【DEBU】のこと、すなわち体重が著しく重い人のことであり、脂肪が多めな人のことだ。英語ではファットマンである。

香港映画とか見ると一人ぐらいはデブがいるし、サモハンみたいなデブヒーローも居るから大丈夫だろうとタカをくくっていたのだが、台湾にはいない。なにしろオタクにすらデブがいないのである。すなわち禁デブ国家なのである。タクシーのおっさんも「ユーはデブなので死ぬ。ハンバーグを食うな」とお客の私に現地語で怒ってくるのであった。

台湾にはオタクはいる。これはもうすごいいる。若者のライフスタイルがもうOTAKUなのだ。そのくせ不摂生なデブがいないからみなスタイルがいい。レイヤーもみなスタイルがいいのでホンモノっぽいのであった。

同人誌のレベルも高いのであった。飯も安くて美味しいのであった。ホテルのテレビではいいことしてくれるおねーちゃんがあたいに電話してねんと番号さらして呼びかけてくるのであった。

まあそんなこんなで台湾のオタクは割と凄いのであったが、ただ一つ残念なことといえばオリジナルまんがが少ないのであった。

理由は簡単である。デブがいないからまだまだなのだ。断言してみた。

作品にはコンプレックスが必要で、それはデブとか不細工とかモテないとかいった負のオーラが割と大事なのだ。だからデブが居ない分負のオーラが少なめなのでオリジナルがまだまだだと私は見た。なにせ日本から来たサークルの作家は皆太めであったので説得力はあるのだった。

そういえば日本の若者も最近デブが減ったというではないか。ゆゆしき問題であるな、といったところで無駄にダイエットなど始めてみるのであった。



逆もよし

C80らくがき本  
 松本ドリル研究所  
 doriken2@mail.goo.ne.jp  
 印刷 AXIS出版株式会社  
 発行 2011/08/14

- この本は台湾で2011年2月に開催された「開拓動漫祭 Fancy Frontier 17」にて作られたコピー本を再構成したものです。
- 一緒に行ったセレビィ量産型先生、モロやん先生と共同でコピー本を一晩で作るという企画でした。
- 道具が乏しい中、ペン無しで描かれた絵を開場前にコピーするという力業で作られた割には意外と好評でした。よかった。